

警察や行政機関等と協働して
 地域住民や子どもたちとともに
 安全力を高めて犯罪被害をなくすことを目指し
 安心感を広める活動

一般市民による
 防犯活動とは？

講演資料

一般市民による防犯活動編

青色回転灯の
 パトロールカー
 全国で45,400台！
 年々増えています



一般市民としてできる範囲で行います。犯罪や非行に目を向ける（監視）よりも、地域や子どもたち
 に目を向ける（見守り）ことで、「みんなで守り合う地域づくり」を目指します。
 また、安全意識の啓発やパトロールをおして、犯罪が起きにくい雰囲気を生み出す効果も期待できます。

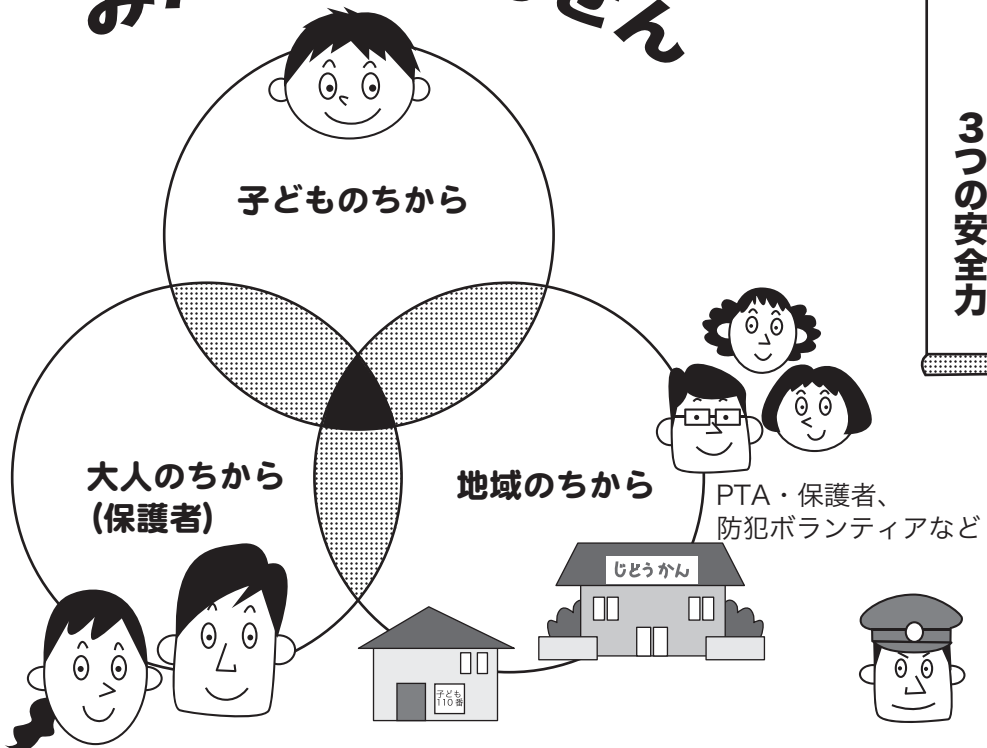


「全国の防犯ボランティア団体数の推移」
※平均して月1回以上の活動、5人以上の団体

うさぎママのパトロール教室
 (文責: 武田信彦)
www.usagimama.com

みんなであんぜん

子どもたちがひとりにならない環境をつくるためにも、3つの力の連携がとても重要です。とくに、子どもたちが、見守りや防犯ボランティアのみならず、まとの顔合わせをしつかり行くと、あいさつもしやすくなります。
 笑顔とあいさつを増やして、みんなであんぜんを高めましょう！



子どもたちを守る
 3つの安全力

ポイント！

防犯に「特効薬」はありませんが、予防・意識・連携をとおして「安全の免疫力」を高めることができます。さらに、地域住民や子どもたちに寄り添う活動の中で「安心感」も広がります。
それぞれの地域に合わせた柔軟なアイデアで、安全・安心両面が元気になるための方法やスタイルを実践してみましょ。



安心

安心

地域住民や子どもたちの安心感が育まれる

連携

関係機関や地域の連携やつながりが増える

安全

意識

ひとりひとりの安全意識が高まる

予防

犯罪が起きにくい環境をつくる

防犯ボランティア
こころがすこい！

安全のために見守ってくれる人たち、見守りをおして助け合うことの大切さを教えてくれる人たち。まさに、子どもたちにとって「本当のヒーロー」と呼べる存在です。
みなさまからのあいさつや、やさしい声かけは、次世代を担う子どもたちにとって大きなメッセージとなり記憶に残ります。もし、子どもたちからの反応が少なくても、元気にあいさつをする姿を見せていくことが大切なのです。



子どもたちにとって
本当のヒーローたち！

講師紹介



たけだ のぶひこ
武田 信彦 (ヨッシー)

うさぎママのパトロール教室主宰
安全インストラクター

1997年、大学時代に犯罪防止NPOの活動に参加。2006年より、安全インストラクターとして活動開始。「一般市民としてできる安全のコツ」をテーマに全国で講演やワークショップなど多数実施。

著書・監修



「親子で読もう！
子どもの安全ブック」
スタジオタッククリエイティブ



「ガールズ☆護身術」
スタジオタッククリエイティブ



「SELF DEFENSE
『逃げるが勝ち』が身を守る」
講談社



「子どもの安全・
安心ハンドブック」
公益財団法人 ベネッセこども基金